

問1 おなかのなかにいる赤ちゃん（子ども）から、母親の体の方へ送られているものはどれですか。

問2 ヒトの卵たまごの大きさを表すときに使われる「直径（ちよっけい）」とは、どのような長さのことですか。

問3 親すがたと似た姿すがたで生まれる動物と、たまごたまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。

問4 卵たまご（卵子らんし）と精子たまごが結びついてできた卵たまごのことを何といいますか。

問5 女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と、男性の体内でつくられた精子たまごが結びつくことを何といいますか。

問6 母親の体内にある子宮じゅせいらんは、受精卵じゅせいらんがどのようになるための場所ですか。

問7 たまごすがたの姿すがたで生まれる動物が、たまごすがたの中でしばらく成長してから外に出てこられるのはなぜですか。

問8 母親の子宮たいじのかべにあり、へそのおを通して胎児たいじとつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。

問9 ヒトの子どもは、お母さんの子宮たいじの中でどのような状態で育ちますか。

問10 おなかの中の赤ちゃんたいじ（胎児たいじ）は、へそのおを使ってどのようなことをしていますか。

問11 卵たまごを産む動物の卵たまごの中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

問12 たいばんたいばん（胎盤たいばん）には、どのようなはたらきがありますか。

問13 受精たいじにおいて、女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と結びつくものはどれですか。

問14 おなかの中の子どもが、母親から養分などを受け取るために「へそのお」がつながっている相手はどこですか。

問15 たまごすがたの姿すがたで生まれる動物は、たまごすがたの中で何を使って成長しますか。

問16 子宮たいじの中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらぬものをわたす場所を何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え いないもの	子どもから母親へは、体の中でできた不要な（いらぬ）ものが送られます。母親から子どもへは養分が送られます。
問2	答え 卵の中心を通る、端から端までのまっすぐな長さ	直径とは、丸い形の中心を通る、端から端までのまっすぐな長さのことです。ヒトの卵の直径は約0.14mmです。
問3	答え 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿で生まれる動物の受精卵は、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さくなっています。
問4	答え 受精卵	卵（卵子）と精子が結びつくことを受精といい、結びついてできた卵を受精卵といいます。
問5	答え 受精	女性の体内でつくられた卵（卵子）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを受精といいます。
問6	答え 成長し、生まれてくるまで育つため	子宮は、受精卵が母親の体内で成長し、生まれてくるまで育つための特別な場所です。
問7	答え たまごの中にあらかじめ養分があるから	たまごの中にはあらかじめ成長に必要な養分が入っているため、外からエサをもらわなくても、たまごの中で成長してから外に出ることができます。
問8	答え たいばん（胎盤）	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児とつながっている部分をたいばん（胎盤）といいます。
問9	答え 羊水という液体につかった状態	ヒトの子どもは、子宮の中を満たしている羊水という液体につかって育ちます。
問10	答え 母親から養分をもらったり、いらなくなったものを母親に返したりする。	胎児はへそのおを通して、母親から成長に必要な養分をもらい、いらなくなったものを母親に返しています。
問11	答え 卵の中に含まれる養分を使って育つ	卵を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、卵の中に最初から含まれている養分を使って育ちます。
問12	答え 胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。	たいばん（胎盤）は、へそのおを通して胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらきをしています。
問13	答え 男性の体内でつくられた精子	受精は、女性の体内でつくられた卵（卵子）に、男性の体内でつくられた精子が結びつくことです。
問14	答え たいばん	へそのおは、子どもとたいばんをつないでおり、たいばんを通して母親から養分などを受け取ります。
問15	答え たまごの中にあらかじめある養分	たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中にあらかじめ養分が用意されているため、それを使って成長します。
問16	答え たいばん	子宮の中にあり、母親から養分をもらったり、いらぬものをわたしたりする場所をたいばんといいます。